

秋思

張籍 ちやうせき
ちヨウ

洛陽城裏秋風を見る
家書を作らんと欲して意万重
復た恐る匆匆説きて尽くさざらんことを
行人発するに臨みて又た封を開く

洛陽城裏見秋風
欲作家書意万重
復恐匆匆説不尽
行人臨発又開封

5

- 2 【洛陽】 現在の中国河南省洛陽市。
- 2 【城裏】 城壁で囲まれた都市の中。
- 3 【家書】 家族に宛てた手紙。
- 3 【意万重】 あれもこれもと思いが重なる。
- 4 【恐る】 心配になること。
- 4 【匆匆】 慌ただしく書いたので。
- 4 【説きて尽くさざらんことを】 言いつくせていないのではないかということを。
- 5 【行人】 手紙を預ける使者。
- 5 【発するに臨みて】 出発するとき。
- 5 【又た封を開く】 封を開いてもう一度見直す。

◆張籍 [788~830頃] 中国の唐代の詩人。韓愈の弟子。
 <詩の原文は『中国名詩選(下)』に
 よる。>